

その「昔から」、 本当に説明できますか？

～学童野球に関わる組織のための
コンプライアンス漫画～

【組織編】



立場が違うだけ、みんな、野球が好きな仲間。
だからこそ、真摯に向き、誠実に説明し、公平に調査する。

Y野球クラブ連盟



1 導入：権限がある側ほどコンプライアンスが問われる



でも、今は時代が
変わっています。
説明できないルールや
対応は、信頼を失います。

**権限がある側ほど、
説明責任と公平性が求められます。**

2 事例1：「そういう決まりだから」で片づける



疑問を頭ごなしに片づけることは、相手
を黙らせる圧力になり、説明責任を放棄
することになります。

**「昔から」ではなく、
「なぜ必要か」を説明する。**

3 事例2：他支部と違うルールを説明できない



SNSなどで他支部の情報が
容易に入手できる時代です。
独自ルールがあるなら、理由を
明確に説明する必要があります。

**説明できないルールは、
見直すサイン。**

4 事例3：問い合わせ・相談を「飛び越えた」と責める



何も言わずに
全国組織に連絡するとは！
うちを飛び越えるなんて
非常識！

相談しただけ
なんですけど…

最初に話を聞かず無視し、
さらに連絡したことを責めるのは、
三重のハラスメントです。

**通報を責める組織は、
信頼を失う。**

5 事例4：通報者探し



誰が通報した？
あのチームじゃないか？

特定して
対処しないで…

通報者を特定しようとするのは、
立場を悪くすること、不利益を被ることは
コンプライアンス違反です。

探すべきは通報者ではなく、事実。

6 事例5：匿名通報を拒む



匿名だから
調査できません。
相手にしなくていい。

でも、名前を
出さない通報
の方も多くな
ります。

匿名を理由に調査を拒むことはでき
ません。なぜ匿名でないといけないのか、
その背景を考えるべきです。

**匿名の裏には、
声を出せない理由がある。**

※項目6の匿名通報につきましては、（一社）神奈川県野球連盟においては例外的に、通報者の氏名および属性（保護者等）を確認させていただきます。なお、ご提供いただいた情報は連盟の通報窓口担当者のみで厳重に管理し、外部に開示されることは一切ございません。本資料のイラストはChatGPTを用いて作成しました。内容が実在の団体や個人と一致するものではありません。コンプライアンス理解を正しく深める教材としてご利用ください。一般社団法人 神奈川県野球連盟

7 事例6：身内だから内々に済ませる



身内意識で不祥事を軽く扱うことは、隠蔽につながります。公平性を失えば、連盟全体の信頼が揺らぎます。

身内に甘い組織は、外から信頼されない。

8 事例7：審判部・連盟役員の高圧的態度



権限は、黙らせるためではなく、公平に運営するためにある。

9 事例8：「悪気はなかった」で終わらせる



「悪気はない」では、傷ついた事実は消えない。

10 事例9：説明できない慣習を見直さない



守るべきは慣習ではなく、信頼。

11 組織が変わる・今日から変える5つの行動



12 結び：みんな、野球が好きな仲間



コンプライアンスは、野球を守る土台です

- 子どもたちの笑顔
- チームの信頼
- 保護者の安心
- 審判の誇り
- 公平な大会運営

風通しのよい組織が、野球を成長させる!

